

# Market Report

2025年2月号



# インドネシアのFFB生産の見通し

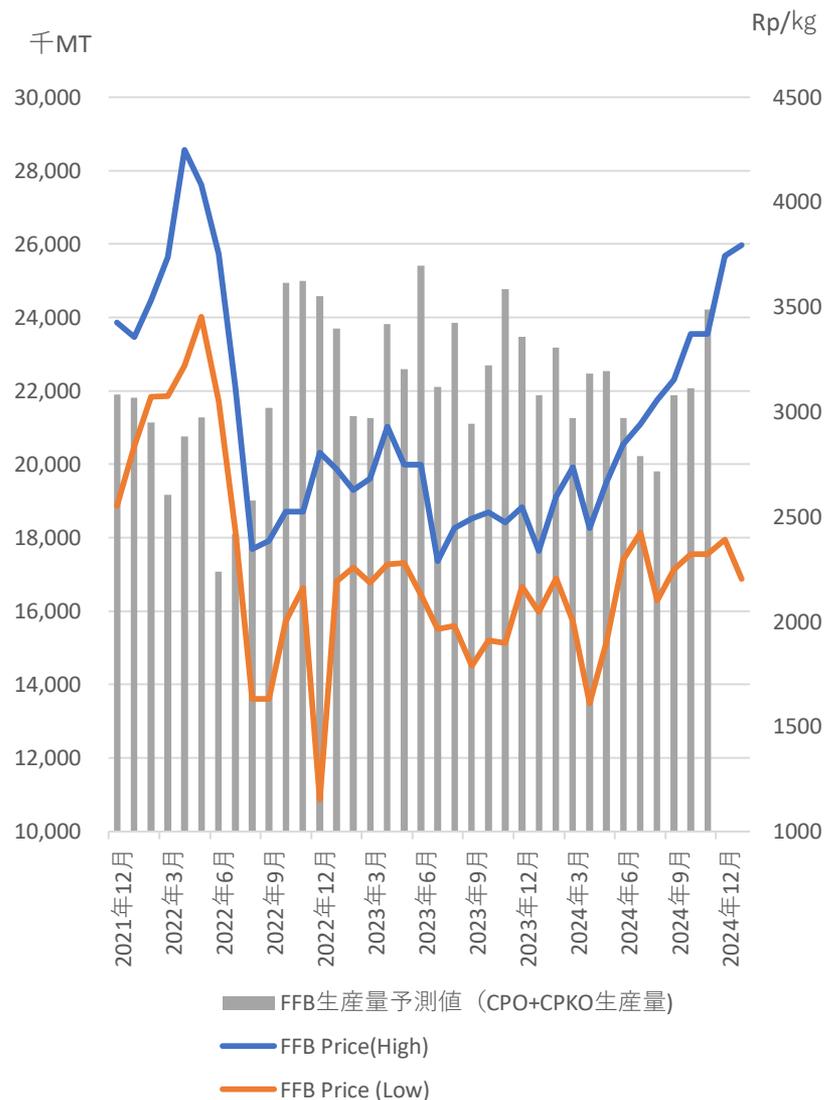
## 1. 実績

2025年1月のインドネシア国内22州での作付年齢10~20年の平均FFB価格は3,162Rp/kgであり、前月の12月より約1%価格が減少している。1月中の最高価格は、ブンクル州で3,769Rp/kg、最低価格は、南スラウェシ州で、2,433Rp/kgであった。

## 2. FFB生産量予測

2025年からパーム椰子を栽培している零細農家の樹齢の高齢化や、高齢化したパーム椰子の植え替え等で、FFBの生産量がおちるとみられている。

インドネシア国内のFFB価格(最大・最小)  
パームオイル生産量から推定されるFFB生産量



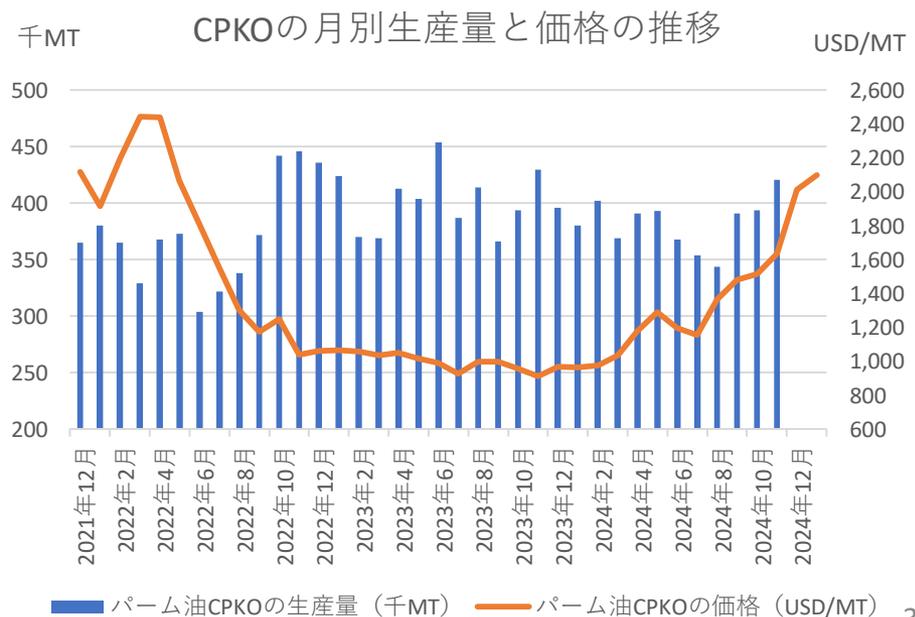
# インドネシアのパーム油CPO及びCPKOの生産量及び価格見通し

## 1. 実績 (CPO)

CPO (CIFロッテルダム) の平均価格は2024年12月の1,321 USD/MTと比較して2025年1月は1,214 USD/MTとなり、107 USD/MT (前月比で約8%) 減少した。また、2024年1月のCPO平均価格951 USD/MTと比較すると、263 USD/MT (前年比で約28%) 増加した。

## 2. 実績 (CPKO)

CPKO (CIFロッテルダム) の平均価格は2024年12月の2,099 USD/MTと比較して2025年1月は1,962 USD/MTとなり、137 USD/MT (前月比で約7%) 減少した。また、2024年1月のCPO平均価格978 USD/MTと比較すると、984 USD/MT (前年比で約101%) 増加した。



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

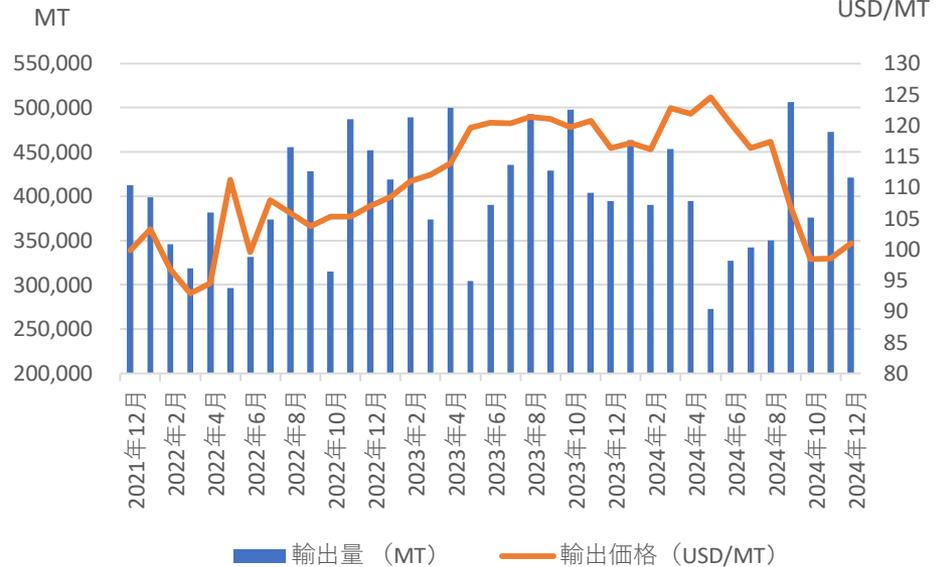
## 1. PKS輸出実績

2024年12月のインドネシアのPKS輸出量は、497,317トンとなり、11月の輸出量421,038トンと比較すると76,279トン（前月比で約18%）の増加となった。

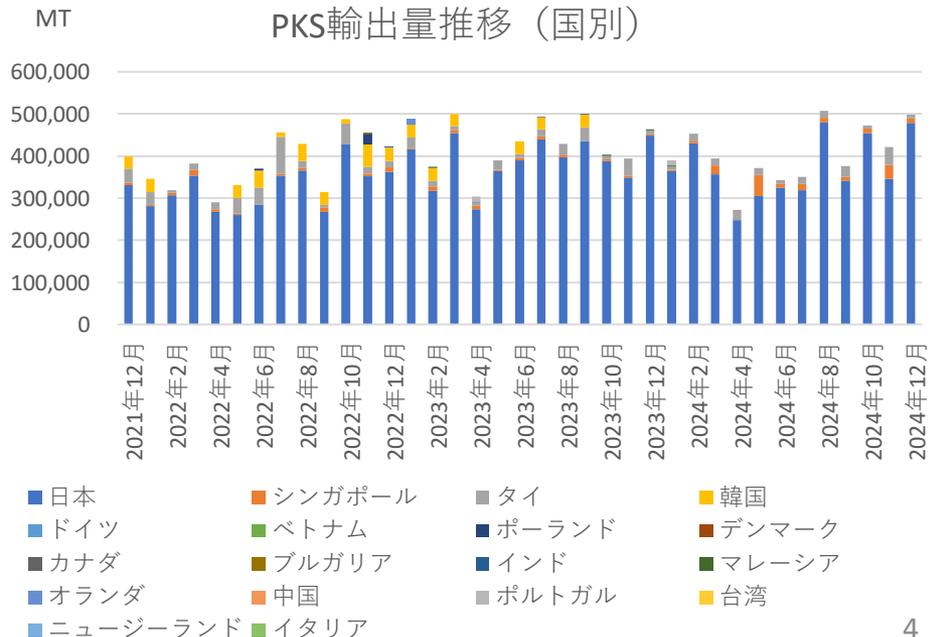
前年2023年12月のPKS輸出量463,305トンと比較すると、2024年12月の輸出量は34,012トン（前年比で約7%）増加した。2024年12月のPKS輸出額は50,935,422USDを記録した。

2024年12月最大の輸出先は日本であり、輸出量は478,770トン、外貨換算額は49,452,105 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約97%を占める）日本への輸出量を11月の輸出量364,429トンと比較すると114,341トン（前月比で約31%）の増加となった。

PKS輸出量と輸出価格の推移



PKS輸出量推移 (国別)



# インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

## 1. FFB価格、CPO価格の見通し

-1月中は雨期の影響でFFBの生産が減少する見込みであり、FFB価格の下げ要因は見当たらず、上昇傾向にある。

-パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、CPOの輸出能力が減少する見込みとなっている、そのため、FFB、CPOの価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。

## 2. PKS価格の見通し

昨年10月に、大きくPKSの輸出量が減少し、PKSの価格も下がった。その後、輸出量が増加し、再度減少に転じている。しかし、PKSの価格が微増している。雨期による、PKSの発生量が下げ基調であるため、PKS需要が価格へ影響することが予想される。

## 3. インドネシア国内の政策

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まっている。

また、B40の国内供給に関連して、CPOを国内B40の原料として確保するため、CPOの輸出制限措置が行われている。